

会報神奈川

平成30年 5月15日発行

発行責任者 神奈川県神道青年会会長 小澤篤至

〒232-0006 横浜市南区南太田2-7-29 電話 (045)731-0668

— 奉祝 天皇陛下御即位三十年 —



神奈川県神道青年会

会長 小澤 篤至

先ず以て、謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げます。神宮におかれましては、諸祭恙なく齋行されておられますこと慶賀に存じます。

本年は、畏くも天皇陛下御即位三十年の佳節を迎えました。常に国民と共に歩まれ、国安かれ民安かれと全身全霊の祈りを御捧げになられる陛下の大御心に感謝の真心を捧げ、国民挙って平成の大御代をお祝い申し上げます。一方で、昨年十二月に公布された『天皇の退位等に関する皇室典範特例法の施行期日を定める政令』により明年四月三十日に御譲位あそばされます。

当会では、来る六月十九日から四日間、亘る皇居勤労奉仕を始め、平成の御代三十年の御聖蹟を辿る写真パネル展の開催や研修会実施等、御即位三十年奉祝記念事業の完遂に向け会員一丸となって邁進致しております。そして、明治元年より百五十年の節目ともなる本年、過去より学び今に生かすべき事柄を今一度確認し、青年神職として成すべき事を存分に協議共有し、時宜に合う活動に努めて、美しい国柄を次代に護り繋ぐ使命を果たして参る所存でございます。

結びに、我々青年神職が青年会活動に邁進出来るのも、神奈川県神社庁を始め、県内宮司様、先輩諸賢より戴く深い御理解と温かい御支援の賜物と衷心より感謝申し上げますと共に、尚一層の御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、御挨拶とさせていただきます。



神奈川県神道青年会



<http://www.k-jinja.jp/seinenkai/>

シリーズ 言霊



「先人の教え」

神奈川県神道青年会 第十八代会長

笠穂稲荷神社 宮司 小野 和伸

「恩師の教えを守るのが弟子の務め」とは、父小野和輝^{おののかずてる}が常に心に掛けていた言葉である。先人の教えを堅実に継承するからこそ「伝統」が守られることの必然性を説いたのである。悠久の歴史を有する神社が、累代の司宰者によって伝統を繋いで来たように、神奈川県神道青年会も先人の栄えある足跡を基盤にして、今ある万全な体制が築かれて行ったと言える。

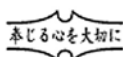
昭和六十年に入会して以来二十一年間に亘る青年会活動は、私の神職人生の「充実期」であった。時宜を得たタイムリーな事柄から神青協と連携した壮大な事業に至るまで、見るもの聞くもの全てが刺激的であった。「斯界の尖兵」と称される歴代会長のパワフルな手腕や求心力を備えたリーダーシップに魅了され、「師」と仰ぐに相応しい多くの先輩と共に活動出来たことを誇りにさえ感じた。

私が会長職を預かったのは正に当会創立五十周年の佳節であり、足掛け四年に及んだ記念事業の完遂と、年間活動の充実に向けて無我夢中になった頃が懐かしい。ホームページ開設・国旗国歌広報ポスター作成・沖縄慰霊の旅・海外宗教視察・神社まつり写真コンテスト・皇居勤労奉仕など、また賛助会員制度の創設・稲作事業の展開など、改めて『五十周年記念誌』を紐解くと当時の記憶が鮮明に蘇って来る。

歴代会長をはじめ先輩方の優れた「教え」と「行ない」が根底にあるからこそ、与えられた職務を全う出来るものと考えている。今後も先人の教えが脈々と受け継がれて、永遠に神青会が盤石であり続けるよう念じている。現会長を中心に輝かしい魅力ある組織を一層発展させ、会員同士が高い目的意識を以て神青会活動に傾注するよう心から期待している。

禮と修む

小野和輝



授与品 総合奉産
調度品 全国社寺



京都・吉祥院
東和奉産株式会社

代表取締役 松尾正貴

本社・工場 〒601-8348 京都市南区吉祥院観音堂町七

電話代表 (075) 691-3000

FAX (075) 691-3300

E-mail info@towahosan.jp

社殿造営・神棚神具製造
有限会社 俵田屋 ひょうたや
代表取締役 田中良弘

〒516-0026
伊勢市宇治浦田丁 〇ノ三八
電話 〇五九六 二三 三九〇五
FAX 〇五九六 二三 三九〇八



拔穂祭と稲刈り 〜実りの秋を迎えて〜

昨夏は長雨に悩まされ、日照時間が極端に少ない夏となりました。六月に行われたお田植えの後、御神田周辺地域では雨と曇天が続き、梅雨が過ぎ去ってからも晴れ間がのぞいたのはわずか数日でした。

日差しの少ない中、稲の発育も心配されましたが、子供たちと共に植えたイセヒカリの稲は、悪条件にも関わらず力強く順調に育ち、夏から秋に移り変わると黄金色へとその色を変え、十



稲刈り
(十一月一日)

月に入るといよいよ収穫ができるまでに成長しました。

稲刈りを予定していた十月十四日は、台風の影響により刈り入れは延期となりましたが、拔穂祭の神事は肅行することができました。収穫前の祭りである拔穂祭では、参列した子供たちも玉串をささげて拝礼し、稲が豊かに育ったことに感謝しました。

十一月一日、待ち望んだ日差しが戻り、稲の刈り入れ作業が行われ、懸税を伊勢の神宮へ御奉納させて頂きました。後日、天日干しした稲を精米し、この稲作に携わった多くの方々の思いと共に、神奈川県内の各神社へと御奉献させて頂きました。

拔穂祭

十月十四日



活動報告

平成三十年三月十九日

時局対策研修会「防災研修会」

総務局 局長 高島 弘



本年は関東大震災から九十五年、また阪神淡路大震災から二十三年、東日本大震災から七年が経ちました。最近では、首都直下型地震の発生を危惧する報道がなされ、その被害想定についても国や自治体から示されるようになりました。神奈川においても災害への対策を具体的に進めていくべき状況にあります。

そのような中、平成三十年三月十九日、伊勢山皇大神宮において、神奈川県安全防災局安全防災部長の杉原英和先生を講師にお迎えし、「防災対策における基礎知識」をテーマに防災研修会を開催しました。

研修開始前には、二十三名の受講生それぞれが地震対策の基礎知識に関する三択問題を回答し、それをもとに正しい知識を確認しながら講義が進められました。

まずは、地震に関する基礎知識として、震度とマグニチュードの用語の説明から液状化が発生するメカニズム（プレート境界地震、活断層に起因する内陸直下型地震）、そして先般の東北地方太平洋沖地震の津波の事例に基づいた津波について、さらには今後想定される南海トラフ巨大地震、あるいは首都直下型地震による被害想定についてご説明頂きました。

その中で、過去の大震災の教訓から、我々は減災に向けてどのような取り組みをしていくべきか、重要なこととして以下を挙げられました。

- ・住宅の耐震化及び屋内家具の固定により建物倒壊や家具転倒による圧死窒息死の被害を防ぐこと。
- ・津波からの避難では、出来る限り速く高い所に逃げること。
- ・自宅から避難をする際は、停電の復旧に伴って起こる漏電による火災を防ぐ為にブレーカーを落とすこと。
- ・生き埋め等による行方不明者の生存率は七十二時間で急



激に落ち込むことから、迅速な生存確認と救出活動が求められ、また公的な救出部隊は絶対数が限られていることから、自治会等による自主防災組織による助け合いや日ごろからの訓練が必要であること。

・生活必需品（水、食料、雑貨）の備蓄を普段から意識して進めていくこと。

・安否情報の収集について、災害伝言ダイヤルや災害伝言板等による情報の収集のしくみを知ること。

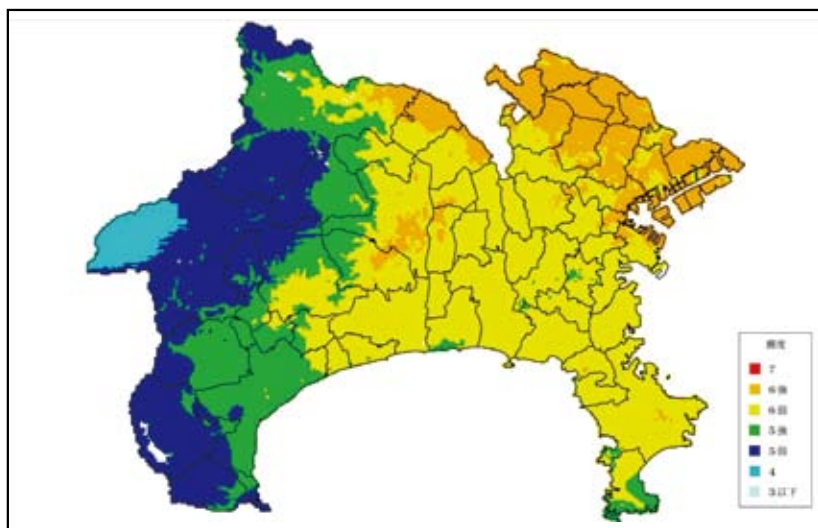
・避難所において、エコノミークラス症候群や生活不活発病を防ぐべく、食事や適切な水分の補給により健康管理に細心の注意を払うこと。

・災害に対する正しい知識を身につけること。

最後に神社と防災に関して、災害に見舞われた際、神社は参拝者、職員あるいは氏子の人命、御神体や文化財を守っていくと同時に、被災者の心を支える活動をしていくことで社会的責任を果たしていくことが重要であるとお話を頂きました。

二時間という限られた時間ではありましたが、我々青年神職においても防災意識を常に持ち続け、普段奉務している神社および神社を取り巻く地域と連携して防災対策を進めていかなければならないと改めて感じました。

総務局では、今回の研修のテーマである「防災対策における基礎知識」を踏まえ、継続して第二回、第三回となる防災研修会を企画実施して参りますので、会員皆様の積極的な参加を宜しくお願い致します。



「都心南部直下型地震予想震度分布」
(神奈川県庁ウェブサイト 地震被害想定調査より抜粋)

【参考】

平成二十九年十一月に内閣府にて防災に関する世論調査が実施され、今年一月末にその結果が公表されました。内閣府のウェブサイトにも掲載されていますので、ここに紹介致します。

<https://survey.gov-online.go.jp/h29/h29-bousai/index.html>

代表取締役
可児 錠二

トモ工陶業株式会社
株式会社 可児商店

愛知県瀬戸市北浦町三丁目36番地 〒489-0915
 ☎tel.0561-83-3674(代) ☎fax.0561-82-4261
 E-mail:kani-co@mtf.biglobe.ne.jp
<http://www.tomotoogyo.jp>

各種御守・授与品全般・デザイン制作承ります。

にしき
有限会社 西紀

TEL: 072-810-8133
 FAX: 0120-71-8135
FAX 24 時間受付

〒576-0034 大阪府交野市天野が原町 4-1-7
 メール: mytom@chive.ocn.ne.jp

平成三十年四月十三日、神奈川県厚木市にある「神奈川県総合防災センター」へ総務局で視察に伺いました。



「神奈川県総合防災センター」(神奈川県総合防災センター提供)

平成三十年四月十三日
「神奈川県総合防災センター」視察
総務局 局長 川辺浩司

三月十九日に行われた「防災研修会」で講師としてご講演頂きました杉原英和先生が、四月一日より同センターの所長に就任され、この度の視察でも直接ご対応頂きました。

同センターは神奈川県の災害拠点に消防学校が併設されている施設です。大規模な災害の発生に備え、広域的、総合的な災害応急活動の中央基地としての機能を有していますが、防災知識の普及啓発業務も合わせて行われています。その業務が行われている「防災情報・体験フロア」が今年の三月にリニューアルされました。

このフロアには地震や風水害、避難などの様々な体験コーナーがあり、「地震体験コーナー」では二面の大型スクリーンが設置されており、兵庫県南部地震や東日本大震災と同レベルの揺れも再現されています。また「風水害体験コーナー」では、最大風速毎秒三十メートルの暴風や雨量毎時五十ミリの豪雨の体験をすることが出来ます。

「防災シアター」では、神奈川県内で巨大地震や津波、火山の噴火が発生した場合の仮想ストーリーを鑑賞することができ、リアルな状況描写は自然災害に自身が直面した際の危険性や備えの重要性を改めて痛感させられます。

その他フリースペースでは、AED(自動体外式除細動器)での心肺蘇生法の体験エリアもあり、これまでに神奈川県を襲った大規模災害の特徴や県の防災対策を紹介するコーナーなど非常に充実した防災体験施設となっています。

また、防災に関する知識や技術を学ぶ防災講座も、小学生とその保護者が参加する「夏休み親子防災教室」をはじめ、中高生やシニア世代を対象にしたものなど幅広く開講され、ご家族連れや団体など年間を通じて多くの方々に利用されているとことです。

「天災は忘れた頃に来る」。いつ起こるか分からない災害に備えるためには、様々な体験を通じて災害について知り、考えることがとても重要です。災害時の被害を抑えるには「自助」「共助」が重要なカギを握るといわれていますが、日頃から備えの心を持たなければ災害に直面した時に具体的な行動に移すことは難しいでしょう。日常生活を送る中で災害に直面した際の状況は人それぞれで異なります。

日本では近年多くの自然災害が発生しています。神奈川県でも今後発生の可能性がある巨大地震の被害想定が発表されています。このような施設での体験を通じて、日常から災害に対する備えの心を持つよう心がけましょう。



AED体験コーナー



地震体験コーナー



防災シアター

平成三十年二月二十三日、鶴岡八幡宮齋館において裏千家正教授 小澤宗誠先生を講師にお招きし、教養研修「茶道研修会」が行われました。

前半は茶道の歴史や精神を学び、その後実際にお茶席に座り、客としての立場での体験をさせて頂きました。

講義の中で特に強く印象に残ったものが「二期一会」という言葉で、これは「今日という(茶)会・日は一生に一度限りのものとして万事誠をもってこれに臨む」という茶道の精神を表す言葉ですが、我々神職も御祭神に対してはもちろんの事、参拝者



に対してもそのような気持ちでお迎え出来ているだろうかと省みました。また、立派な装束や肩書を持つていてもそこに「おもてなし・奉仕の心が無ければ茶人足り得ない」という精神は我々神職とも相通ずると感じられました。

また研修会を通して、茶道の中には茶器として様々な陶器や漆器が用いられ、礼法があり、掛け軸や生け花をはじめ香炉、懐石料理、茶屋や庭があり、それら日本文化と深く関わり支えられているのだと感じられました。茶道も同様に、礼法や和歌や雅楽をはじめ古来より続く様々な文化と関わり支えられていると改めて気づかされました。

我々神職は、日本の伝統や文化を護り伝える立場にあります。自国の文化を深く学び奉仕に生かすとともに、参拝者の方々にも日本文化の豊かさを伝えていかななくてはという思いを強く致しました。



平成二十九年十二月七日
賛助会員交歓会・忘年会
親睦部 副部長 鈴木康成



ザクラシカ ベイリゾートにて「賛助会員交歓会」及び「忘年会」を開催致しました。当日は富岡八幡宮宮司佐野主水様をはじめとする賛助会員・顧問の皆様、また友好団体である神奈川県神奈川縣神輿保存會の皆様にご臨席賜り、総勢八十三名の方々にご出席頂き、盛大に執り行いました。

冒頭の小澤会長の挨拶では、今後予定されている天皇陛下御即位三十年の式典と御譲位についての話がありま

した。さらには憲法改正の論議について、当会においても果たすべき役割を十分理解しつつ改正に向けて邁進して行くべきとの考えを述べました。

懇親の席では、諸先輩方と和やかに語らう中でお掛け頂いたお言葉は大変心強く、今後の活動の励みとなりました。また、会員相互がより一層親睦を深めることができ、次年度の活動へ向けて一致団結し、当会の更なる発展を確信する一日となりました。



平成三十年一月三十日
新年会
親睦部 副部長 久保嘉秀



イタリアンダイニング ベオーネにて、小澤会長をはじめ総勢四十名の参加のもと盛大に「新年会」を行いました。

まず会長挨拶において、今年六月に天皇陛下御即位三十年奉祝事業として「皇居勤労奉仕」が叶う旨の報告がありました。続いて守屋副会長の乾杯の発声により和やかに新年会が始まりました。

杯を交わしながら年末年始を乗り切ったことを労わりあい、それぞれの正月の状況を報告しました。また

繊細な技術と日本の伝統を今に継ぐ
授與品の奉製

古都 奈良の
株式会社 大和奉神堂
〒630-8434 奈良市山町782番地
TEL 0742-62-3235(代)
FAX 0742-62-3228
E-mail: hoshindo782@yahoo.co.jp
HomePage: <http://www.yamato-hoshindo.com/>

社頭授与品専門奉製所
(主要奉製品意匠権所有に付、侵害厳禁)

帝陸神宝(株)

〒310-0902 水戸市渡里町 835-1

☎ (水戸) 029 (227) 0511 (代)
FAX (水戸) 029 (227) 0512

今後の青年会活動の展望についても語り合い、有意義な時間を過ごしました。そして最後に、古木相談役に中締めのご挨拶を頂き閉会致しました。

当会の徽章に刻まれた車輪は、「会員一同が肩を組んで進んでいく」という団結と絆の象徴です。諸先輩方から受け継いだその精神を最大限に発揮して、会員一同、本年も事業完遂に向けて邁進していこうという思いを改めて確認する機会となりました。

平成三十年三月二十日

顧問会・慰労送別会

親睦部 副部長 中村喜江

横浜中華街の廣東飯店にて「顧問会」「慰労送別会」を開催致しました。顧問会では、永井顧問を始め、吉田飯谷、二見、石原各顧問のご臨席を賜り、各局長部長より平成二十九年度の事業報告を行い、各顧問から次年度の活動に向けて貴重なご意見を頂きました。

「顧問会」後には、一年間の締めくくりに青年会活動の慰労と退会する方々の送別を兼ねて「慰労送別会」を開催致しました。

会員三十八名が、顧問五名の皆様と共に、吉井教養部長、越取企画副部長、江澤教養副部長、筑波広報副部長、男

成会員の五名の退会者を送り出ししました。

退会される皆様のこれまでの活躍、共に青年会活動に励んだ思い出話や新たな奉職先での抱負など、話題は尽きず賑やかで楽しいひとときを過ごしました。

ご臨席賜りました顧問の皆様に感謝し、退会されます皆様の今後益々のご活躍を心よりご祈念申し上げます。



不測の不審火 から御社殿を ファイヤーレターテント防燃水
 防火・シロアリ退治・防臭の三大効果！

ファイヤーレターテント 防燃水施工 **施工なし**

こんなに違うって ご存知でしたか？

1,300度以上でも 火は燃え広がらない
 270度に達すると、 すぐ1,000度以上！

主な施工実績	
千葉県：4 神社 / 東京都：28 神社	
神奈川県：8 神社 / 新潟県：1 神社	
長野県：1 神社 / 福島県：1 神社	

販売元：コクド環境（株） 122022 埼玉県川口市南本 3-12-22
 TEL:048-241-8285(代) FAX:048-241-4256
 施工元：(有) 環境マザーズ

民俗工芸オリジナル

祓串案（祓串付）

材質 アラスカ樺材
 寸法 間口50×奥行25×高さ47cm
 （家高さ30cm）
 祓串丈75cm（2尺5寸）・2.1cm角

28,800円

株式会社 **民俗工芸**
TEL 0120-534-550
FAX 0120-672-550
 〒857-1162 長崎県佐世保市知本町18-1
 土曜日も平常通り営業致しております。

案と祓串台が一体化

新製品
 市販は別売です。

平成二十九年十二月八日

神青協一都七県協議会

研修会(靖國研修会)

会計局 局長 志村幸弥

神青協一都七県協議会第四回定例会議に併せて、靖國神社において研修会が開催され、当会からは八名出席致しました。

研修会に先立ち靖國神社の大前へ正式参拝。お鎮まりになる英霊達の御霊安かれと祈念を致し、感謝の誠を捧げました。

研修会には、靖國神社欄宜 岡本眞人先生を講師にお招きし「靖國神社について」と題してご講演を頂きました。ご講演では、戦後の招魂、正床への合祀について、平成三十一年に迎える創建百五十年の佳節に向けての記念事業についてお話し頂きました。

また平成二十八年より実施している本殿・拝殿のバリアフリー化の工事について触れられ、高齢化のご遺族、崇敬者の方々にとって参拝しやすい環境整備を進めており、耐震補強工事なども行っているとの説明がなされました。

さらに、平成二十九年四月より導入されたカメラスキャナー搭載のレジシステムについても、実物を拝見しながら詳細な説明を頂き、実際の運用に関

しての問題や、社務の改善にどのような効果があったかなどのお話を頂きました。

様々な靖國神社の「現在」を知ることが出来る大変貴重な研修会でした。

平成三十年三月七日・八日

神道青年全国協議会

中央研修会

教養部 部長 吉井良迪

神道青年全国協議会中央研修会が長崎県ハウステンボス内JRAゲルックホールにて開催され、当会より小澤会長以下十一名の会員が参加致しまし



た。

「地方創生」消滅可能性集落と神社の爾今を考へる」の主題のもと、衆議院議員 石破茂先生、皇學館大学大学院特別教授 櫻井治男先生、内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局参事官補佐 芝沼隆太先生、長崎県神社庁 副庁長・政彦神社宮司 吉村政徳先生、ジャパネットたかた創設者 高田明先生をお迎えしてご講義を賜りました。

本研修会では、少子高齢化・人口減少について一人一人が現実に向き合い危機感を持つことの重要性を学び、神社が地域の核となり創意工夫して、ま

ず地域レベルでの再生・発展を目指そうと参加青年神職一同が心を一つにしました。

全国から約三百四十名の青年神職が集まり、改めてそれぞれの地域発展の使命を再考する良い研修となりました。



祈りのかたち
京の伝統と真心を込めて

御社寺ならでしの御守をオーダーメイドで奉製いたします
色・柄・形などお気軽に御相談ください

京都奉製株式会社

京都本社：東京営業所：仙台営業所：福岡営業所
☎ 0120-164124 (イロヨイニシキ)
京まめページ http://www.omamori.co.jp

平成三十年三月八日・九日
神青協一都七県協議会
研修旅行

事務局 局長 小泉匡史



菅崎宮にて

毎年恒例となっております神青協一都七県協議会主催「研修旅行会」が開催され、当会より六名が参加を致しました。今回は長崎ハウステンボスでの神青協主催中央研修会に併せて開催されました。

中央研修会終了後、宮崎宮へと向か



宗像大社にて

い、正式参拝の後、権宮司 田村邦明様より菅崎宮の御由緒や、「敵国降伏」という社額に込められた意味、塩ではなく砂を用いるという、この地域の神社ならではの神祕の仕方など貴重なお話を頂きました。

その後、福岡の中洲にて懇親会を行い、旅行に参加した三十名を超える仲間と親睦を深め、有意義な時間を過ごすことができました。

二日目は、宗像大社を正式参拝し神宝館を見学しました。そこには沖ノ島出土の国宝が八万点以上展示されており、沖ノ島の歴史についてご説明を頂き、大変勉強になりました。その後、福岡県柳川市に向かい、柳川下りを経験しました。

研修を通して、普段経験できない多くの事柄を見聞きし、貴重な時間と学びを仲間と共有することができました。この研修旅行で深めた絆を大きな力にして、今後の青年会活動に生かしていきたいと思っています。

創業百有余年

— 伝統の技術を活かした授与品作り —

神奈川県神社庁をはじめ
全国各神社でご利用頂いております。

神符・守札・木札・金櫛御守・御朱印帳
交通安全守・彫り木守・その他各種授与品

ご一報いただければカタログ送付致します

株式会社 **井丸井紙店** TEL 055-272-0136
FAX 055-272-3966

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門763

この国の佳き伝統とともに

株式会社 宮本卯之助商店

創業 文久元年 太鼓・神輿・祭礼具 製造販売

〒111-0035 東京都台東区西浅草2-1-1
tel. 03-3844-2141 fax. 03-3842-6730

www.miyamoto-unosuke.co.jp

神祭具 授与品 記念品 奉製



株式会社 **神路社**

本社

〒516-8611 三重県伊勢市岩瀬2丁目5番29号(私書箱第26号)

電話番号 0596-24-5858 / FAX 0596-24-5110

E-mail info@kamijisya.co.jp

神 苑(東京本営業所)

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1丁目26番14号 ACTビル4階

電話番号 03-3280-6720 / FAX 03-3280-6721

E-mail info-tokyo@kamijisya.co.jp

<http://www.kamijisya.co.jp>

御装束・御 簾・神 輿
神 祭 具 調 度

宮内庁御用達 京装束・京神具の店

有限会社 竹 重

〒600-8324 京都府京都市下京区東側町510番地

Tel 075-371-0394(代)

Fax 075-341-6966

ご注文専用フリーダイヤル 0120-37-0394

平 成 29 年 度 後 期 活 動 報 告

8月

30,31日 神道青年全国協議会夏期セミナー（神社本庁）

10月

6日 第21回一都七県神職野球大会
（大井ふ頭中央海浜公園野球場）
14 稲作体験事業 抜穂祭（御神田）
19 第6回拡大役員会（伊勢山皇大神宮）
31 会報「神奈川」第64号発刊
31 神青協一都七県協議会親睦フットサル大会
（代々木フットサル競技場）

11月

1日 稲作体験事業 稲刈り（御神田）
5 賛助交歓会（伊勢山皇大神宮）
10 神青協一都七県協議会第3回定例会議（神社本庁）
16 第7回拡大役員会（伊勢山皇大神宮）
17 献米発送作業（比々多神社）
24 神青協一都七県協議会第11回親睦ゴルフ大会
（赤城国際カントリー倶楽部）
29 神社庁設立70周年県総連設立60周年記念大会
助勢（ロイヤルパークホテル）

12月

6日 松田良昭県議「かながわ元気フォーラム」助勢（ローズホテル）

7 賛助会員交歓会・忘年会
（ザ クラシカ ベイリゾート）
8 神青協一都七県協議会第4回定例会議・研修会・忘年会（靖國神社参集殿）
12 第8回拡大役員会（杉山神社）

1月

30日 新年会（横浜）

2月

4日 神奈川県神輿保存会新年会
（ロイヤルパークホテル）
5 神青協一都七県協議会第5回定例会議・顧問会・新年会（神社本庁・新宿）
7 第9回拡大役員会（伊勢山皇大神宮）
23 教養研修会「茶道研修会」（鶴岡八幡宮）

3月

7,8日 神青協中央研修会（JRAゲルックホール）
8,9 神青協一都七県協議会研修旅行会（福岡）
16 第10回拡大役員会（稲毛神社）
19 時局対策研修会「防災研修会」（伊勢山皇大神宮）
20 顧問会・慰労送別会（広東飯店）

4月

2,3日 福島県神道青年会合同会員家族交流事業（箱根）

慶弔報告

◇結婚

相原侑一郎 教養部副部長
平成三十年三月二十四日結婚

退任顧問・卒業会員

◇退任顧問

三之宮比々多神社

永井 武義

◇卒業

笠程稲荷神社

小野ともみ

八幡神社

関口 正孝

鶴岡八幡宮

勝矢 聡

川勾神社

二見 巳恵

箱根神社

勝亦 教之

新役員

◇教養部部長

六所神社

柳田 崇道

◇広報部副部長

鶴岡八幡宮

神谷 直樹

◇教養部副部長

鶴岡八幡宮

丹羽 恒

(敬称略)

◇退会

若宮八幡宮

大森 重宗

熊野神社

越取 寛昭

杉山神社

厚木 優樹

天神社

宮川 貴史

瀬戸神社

加藤 真輝

富岡八幡宮

江澤 徹

鶴岡八幡宮

吉井 良迪

鶴岡八幡宮

筑波 貴嗣

鶴岡八幡宮

男成 俊平

寒川神社

植松 敏光

寒川神社

加藤 芳朗

箱根神社

上杉 翔樹

鈴鹿明神社

田中 慶佑



植物と神道

橘 タチバナ

雨間あけて国見もせむを 故郷の花橘は散りにけむかも

作者未詳『万葉集』巻十（二九七二）

平安京内裏の正殿である紫宸殿には、中央の階の左右に、左近の桜とともに右近の橘が植えられていました。前回は桜の信仰について触れましたので、今回は橘について紹介いたします。

橘は『万葉集』の中で、六十首ほど詠われており、その数は萩や梅に次いで多く、万葉人に最も愛された花の一つでありました。冒頭の歌は、『万葉集』に収められた夏雑歌のうち「花を詠む」一首で、「田植時の五月雨が晴れたなら国見をしようと思うが、橘の花は散ってしまったであろうか」と案じており、国見の儀礼と橘の花に対する万葉人の敬虔な心が表れています。

万葉人にとって橘は霊威を感じる花、すなわちタチバナの「タチ」は「顕つ（タツ）」であることから、「神意の顕現する花」という意味をもつと考えられていました。

また、橘はミカンの古名といわれ、暖国の初夏を彩る花でした。記紀によると、垂仁天皇が田道間守に命じて、常世の国に取りに行かせた、という「非時香菓」が、「今の橘」だと記しています。

このなかで、常世から田道間守が持ち帰ったのは、「八纒八矛」の橘と伝えられています。この「矛」とは、枝に実をつけたままのものであり、「纒」は干し柿のように橘の実を緒につないでカズラのようにしたのもとも、細い枝をたわめてカズラにしたものともいわれています。

この説は、但馬の人、いわゆる出石人の伝承にかかわるものですが、橘は古代人が夢に描いた永遠の世界である「海波常世の国」からもたらされた、と伝承されています。このことから、橘は霊威ある植物であったと考えられています。

筑波貴嗣（広報部）

【参考文献】

桜井満『花の民俗学』（講談社学術文庫）

國學院大學「萬葉の花の会」「植物で見る「万葉の世界」」（「萬葉の花の会」事務局）

誠実奉仕、信用第一

神 社 本 庁 御用達
國學院大學 推薦店
明 治 神 宮 指定店

瀬戸装束店

〔営業品目〕

●神楽御装束 ●神楽装束 ●神社調度
●祭器具のすべて ●神前結婚式場神殿設備

東京都中野区中野3丁目10番5号 取引銀行
〒164-0001 電話 03-3381-4927 三菱東京UFJ銀行中野駅前支店
FAX 03-3381-4927 普通預金No.0359145
郵便振替口座 00120-7-557201

誠実と真心で奉仕する

御守・授与品・参拝記念品奉製

天然石厄除開運腕輪守・天然石みくじ

御一報次第カタログ御送り致します。

グリーン産商株式会社

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL (06) 6702-6009 (代表) FAX 0120-34-2996

「神道と私」

「神職としての教誨とは」

く 堀の向こうの少年たちへく

海南神社禰宜 米田郷海

平成二十五年に神社本庁教誨師を拝命して、今年で六年目を迎えました。

「教誨（きょうかい）」とは、矯正施設において収容者・受刑者の徳性の育成や精神的救済を目的として行われる活動で、教誨を行う者のことを「教誨師」といいます。そして、「矯正施設」は犯罪を行った者や非行のある少年を収容し、改善更生のための処遇を行う施設で、法務省所管の刑務所や少年院等があります。

神奈川県には刑務所や少年院等五つの矯正施設があり、私が担当しているのは横須賀にある久里浜少年院です。少年院は、家庭裁判所から保護処分として送致され収容されている少年たちに対し、再犯や再非行を防止し、社会復帰を容易にし、社会的自立を図る目的で働きかける教育施設です。

久里浜少年院は、第二種少年院（旧特別少年院）という「身に著しい故障はないが、犯罪的傾向の進んだ、おおむね十六歳以上二十三歳未満の者を収容する施設」で、国際科もあり外国籍の少年も収容されています。そして、全国五十二か所の少年院の中で「少年院最後の砦」といわれているのが、久里浜少年院です。「少年」の中でも比較的高い年齢の少年が多く、収容中に二十歳になる少年もいるためです。

全国の矯正施設には神道系・仏教系・キリスト教系・諸教といった、各宗教の教誨師約千八百名がおり、その中で

「神道」神社本庁教誨師は百四十名ほどおります。神奈川県では現在九名の神職がそれぞれの信念を持って各矯正施設に赴いております。

私が教誨師を拝命したのは、神職に就いて十九年目のことでした。海南神社に奉職して以来、十数年ほど前任の教誨師であり父である宮司とともにプール開きや収穫祭の祭員として施設に出入りした経験から、教誨師に興味を持ちましたところ、先輩教誨師から推薦を頂き、引き受けることとなりました。

教誨の種類には一般に、集合・グループ教誨、個人の希望による個人教誨、死亡時における棺前教誨などがあります。私が行っているのは、特定の希望者を対象とする集合教誨、プール開き神事や収穫祭神事といった宗教教誨です。初めて教誨をしたときのなんともいえない緊張感は今でも忘れることのできない感覚です。教誨は十分ほどの講話が基本です。私は月に一度数人の少年の前で講話をします。話す内容については、とくに施設からの要望等はなく自由ですが、講話する相手は罪を犯した少年達ですので、神社の由緒を社頭で説明するのはわけが違います。少年達が二度と罪を犯さないように改善更生してくれるよう思いをこめて教誨（講話）をします。

教誨を行うなかで私がいつも心がけていることは、少年達に対して難しい言葉を使わないということです。たとえば神道の事や神社の説明をしようすると神職や氏子の方にとっては当たり前でも少年達にはわからない言葉がたくさん出てきます。講話の中で、意味のわからない言葉に出会うと、聴き手はその言葉の意味を考え始め、その間、話の内容が頭に入らないと思います。ですから私は少年達に少し分りやすく、易しく簡単な言葉で話すよう心がけています。さらに、どういう字を書くのかなど、文字の説明などをしながら話すようにしています。



久里浜少年院での収穫祭

あるときに少年からこんなことを聞かれました。「神主さんはなぜいつも昔の人の格好をしているのですか？」と。私は、「神社はずっと昔からあるものでその昔からの変わらぬ思いで祖先の人たちと共に神様に仕えているという気持ちのあらわれなのだよ」と、答えました。私達神職にとっては白衣に袴、狩衣などは当たり前ですので考えたこともない問いでした。なかには神社と寺の区別もつかない少年もいます。これまでの生育環境の中で宗教的なものに触れる機会が少なかったためだと思います。

話す内容は自由ではありますが、成長過程にある「少年」に特定の宗教（神道）の宗教色を出すことは原則できません。神社本庁教誨師として、神社神道が伝えきれないというジレンマを抱えて常に葛藤しています。

教誨の内容は、毎回さまざまですが、「自然と調和し、自然を大切に」「祖先を敬い、命の繋がりの中で生かされていることに感謝する」「皆で仲良くする」「今の一瞬を大切に生きる」という神道の思想である、「中今」の話しはよくします。

また、日本は「言霊の幸ふ国」です。私自身にもいえることですが、少年達には「言葉は使い方ひとつで癒しにも凶器にもなるので、取り扱いには注意が必要です。相手を思いやり、常に物事を見直し聞き直し大切に言葉を使ってお下さい」と説明します。

また、毎回教誨の最後には大祓(形代)を使い「君達の罪・穢れを神社に持って帰って清めるので、これからは罪・穢れをためない清く明るい心を持って生活できるように心がけてみましょう」と話し、翌日の日供祭にて大祓を行っています。

私自身も穢れをためないよう教誨の前日には「汗を出して禊だ！」と翌日の講話を考えながら必ずランニングをしています。話がまとまらず、三十キロほど走ったこともあ

りました(笑)

教誨とは、収容者を教諭することです。少年達に改善更生を働きかけるといふ容易でない使命を成し遂げるために、私自身も神職として、日本人の誇りを持って自己を磨き、人格の向上に努めようと、実践するのはなかなか困難ですが、常に心がけています。

私の「言霊」で一人でも多くの少年達が立派に社会復帰していただくことが、私の教誨師としての目標です。



久里浜少年院正門

内宮に一番近い宿

早朝参拝のご案内をしています

ゆとりとやすらぎの宿

 **神宮会館**

伊勢神宮崇敬会

— ご宿泊に関するお問い合わせ —

〒516-0025 伊勢市宇治中之切町152

TEL.0596-22-0001/FAX.0596-22-1517

<http://www.jingukaikan.jp>

”土佐絵自由自在”「既製サイズで我慢・・・」の時代は終わりました。

土佐絵で作る神具木工品は

森の道具屋

〒781-2120

高知県吾川郡いの町枝川177-3

TEL 088-850-4087

FAX 088-850-4076

URL <http://www.morinodouguya.ecweb.jp>

E-mail morinodouguya@titan.ocn.ne.jp

～おすすめ事業品のご案内～

境内の彩りに、結婚式にも！

朱傘 32,000 円／朱傘台座 28,000 円

朱傘：直径 200cm、高さ 254cm、台座使用時 255cm
台座：上正方 29cm×29cm、下正方 47cm×47cm、高さ 55cm、穴内径 4.8cm



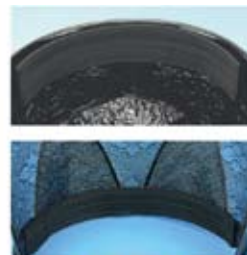
内側は五色の糸で美しく仕上げられています。
傘は持ち運びにも便利な収納袋付き。



汗ばむ季節に！

烏帽子用汗取りパッド 5 枚入り 2,000 円

東レの抗菌防臭素材セベリスを使用したパッド。
汗や皮脂のべとつき不快感を軽減します。
化粧移りが気になる女性の額当や冠にもおすすめです。



※額当の紐に合わせカットしております

お食い初めセット(化粧箱入り)

【化粧箱のサイズ】

膳なし 21.2cm×19.6cm×7cm

膳あり 24.3cm×20.7cm×11.5cm



膳なし 1,300 円／膳あり 1,800 円

鎮物各種

※紙製、木製は
10 体以上から承ります。



紙製 200 円／木製 600 円／陶器 角型・丸型各 1,500 円

白衣、襦袢

白衣、襦袢共に夏物もご用意しております。

白衣 8,000 円 (X4のみ 9,000 円)

品番	品名 (白衣)
X 2	夏物 (テトロン、麻)
X 3	冬物 (ウール)
X 4	合物 (ブロード)
X 5	合物 (ポリエステル)

白衣サイズ表 (単位 cm)

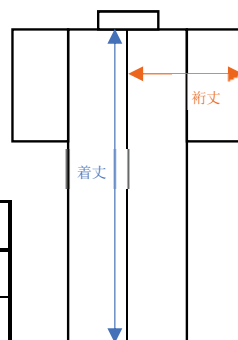
	小寸	中寸	大寸	特大寸	女中寸	女大寸
着丈	130	135	140	145	120	125
衿丈	66.5	68	69	70	65	67

襦袢 4,000 円

品番	品名 (襦袢)
S 4	合物 (さらし)
S 5	夏物 (クレープ)
S 6	冬物 (天竺素材)
S 7	冬物 (ネル)

襦袢サイズ表 (単位 cm)

	M寸	L寸	女寸
着丈	76	82	67
衿丈	65	68	60

**福助足袋**

縫製が良く丈夫な日本製。
注文は五足から承ります。

品番	品名	サイズ (単位 cm)	定価
1303	足袋 (ネル)	22.0~28.0 (0.5 刻み) 29.0~30.0 (1.0 刻み)	1,000 円
3303	足袋 (サラシ)	21.5~28.5 (0.5 刻み) 29.0~30.0 (1.0 刻み)	1,000 円
3477	足袋 (サラシ)	22.0~28.0 (0.5 刻み) 29.0	600 円

その他事業品

品名	定価
デザイン神棚 (ナチュラルクリア)	25,200 円
〃 (ブラウン、レッド)	26,200 円
〃 (ホワイト)	30,200 円
国旗セット (縦 71cm、横 89cm、ポール 150cm)	2,000 円
浅沓 小 (25cm 以下) 中 (25~26cm)	各 17,000 円
大 (26~27cm) 特大 (28~29cm)	

お申し込み、お問い合わせは F A X 又はメールにて承ります。
F A X の場合は別紙申込用紙をご使用下さい。
送料、振込手数料は別途ご負担頂きますようお願いいたします。

〒253-0195 高座郡寒川町宮山 3916 (寒川神社内) 水谷祐也

電話: 0467-75-0004 FAX: 0467-75-0071

e-mail: kanagawa_sinseikai_jigyoubu@yahoo.co.jp



注文メール作成に!

情に竿させ冠婚葬祭(二)

婚——夫婦の神事——

「婚姻は人間一生の大事であって、苟にも一時の事のやうに思はず、その儀式は鄭重にすべきものである。」

この言葉は、幕末明治期の国学者権田直助が、当時の神職(教師)に向けて行った講義の一節です。権田は神道を研鑽し、神社を中心とした民衆教化に力を注いだ人物で、祀職として多くの功績を残しています。そもそも我が国の婚礼儀式は、室町頃から小笠原流など武家の間で礼法が整えられ、明治維新後は宗教儀礼に則って、広く多様に行われるようになり現在に至っています。権田は婚姻の淵源を遡り、『記紀』に示された「国生み神生み」に求めました。

「神代の昔、伊邪那岐伊邪那美二柱の大神が、産靈神の大御詔によつて、漂つて居た國土を修理固成めさせられ、遊能奈呂嶋に天降り遊ばして、八尋殿といふ御殿を御建てなされ、其處で夫婦の神事を行はせられ、諸の神等を始として、天の下の萬民を御生み遊ばしたのが、婚姻の初である。」

今日の神前結婚式は、明治三十三年皇太子嘉仁親王(後の大正天皇)のご婚礼に倣つて定着していましたが、根幹は神代の元始に基づいているとの指摘は、銘記すべきことのように思われます。

「それ故に婚姻式は、専ら我が國の古い儀式を本として、我が身の大木たる神々の御霊徳を忘れず、正しい心を以て、行ふものである。」



神道教化活動に足跡を残した権田直助(『徳育資料第二編権田直助翁詳伝』埼玉県立図書館復刻叢書(三)より)

婚姻は男女の結び付き、そして新たな生活の始まりに帰結するのではなく、「後の人民、諸は、皆その御霊の徳によつて、自らの後継者を得、造化の神の神事を助け、國の爲君の御爲と、我が務めを盡すことを得るのである。」と

もあるように、受け紡がれてきた「命」を畏むとともに、夫婦となった男女には「造化の神の神事」を支える重要な「務め」が与えられていることが述べられています。

次世代を育む家庭にあつて、それは愛しみ深い拠所であるとともに、お互いが切磋琢磨し合い、永続的に生成発展させていく場所であることを認識させられます。

中村 聡(広報部)

《参考文献》

- ・権田直助「婚姻式」(神道教師講習会編『神道教師講習會講義録』卷之二所収・明治三十六年六月)
- ・大辻桃源「講座「人間と結婚」次代を託すあなたに贈る」(文美殿事務局 平成元年)

御装束・御社殿装飾調度・祭器具
家庭用御宮各種・授与品・記念品

(株) 高善装束店

代表取締役 桑 茂雄

〒113-0021 東京都文京区本駒込 3-2-9

TEL 03(5815)8771

FAX 03(5815)8772

**大切なイメージを
カタチにします。**

オリジナルグッズ・記念品

KOWA

KOWA DISPLAY CO.,INC.

株式会社 晃和ディスプレイ

東京都目黒区目黒本町3-13-10 〒152-0002

TEL: 03-3792-0211 FAX: 03-3792-0925

ホームページ <http://www.kowa-dsp.co.jp/>

ゴルフ同好会

山本喜道



沼津国際カントリークラブにて
(平成30年 2月27日)

ゴルフ同好会はここ二年ほどゴルフ大会を開催することができませんでしたが、今年は二月二十七日に静岡県沼津市にある沼津国際カントリークラブにて六名の参加、四月九日に神奈川県三浦群にある葉山国際カントリー倶楽部にて七名参加と二回の大会を開催しました。会員それぞれに当会規定のハండిキヤップを設けているので誰もが優勝するチャンスがあります。今後も継続して企画し、会員同志親睦を深めるべく活動して参ります。

ゴルフをこれから始めてみたいという初心者の方も参加しやすい会です。普段は横浜市保土ヶ谷区にあるハンズゴルフクラブというゴルフ練習場が集まって練習をしております。ゴルフを

フットサル同好会

平賀允教



「神青協一都七県協議会親睦フットサル大会」
国立代々木競技場フットサルコートにて (平成29年10月31日)



始めてみたい方、体験してみたいという方がいらつしやいましたら是非ともご参加下さい。

【事務局】 日枝神社 山本喜道

〇四四―四二二―三二七一

平成二十九年十月三十一日、「神青協一都七県協議会親睦フットサル大会」が国立代々木競技場フットサルコートにて開催されました。我等がフットサル同好会は、十三名の参加にて試合に挑み、念願の優勝を飾る事が出来ました。また、当会から大会得点王、MVPを輩出することができ、今大会は会員の目覚ましい活躍で幕を閉じました。

当同好会は月に一、二回横浜近辺の体育館、フットサル場を中心に活動しております。テニスボールを使ったパラエティ豊かなトレーニングメニューなどもありフットサルだけでなく総合的スポーツを行っております。

初心者の方も多く参加されますし、運動不足が気になる方や小さなお子さんにもお勧めです。ご家族、お友達と一緒に気軽にご参加ください。見学からという方も大歓迎ですので、まずは遊びに来てください。多くの方と一緒に充実した時間を過ごしたいと思っております。皆さまの参加をお待ちしております。

【事務局】 八幡大神 小泉匡史

〇四四 (五一) 六〇一〇



- 〈営業品目〉
- 交通安全御守護
 - 開運招福鈴
 - 文鎮 金盃
 - 各種記念品類
 - 胸像・レリーフ・铸造類

鈴木徽章工芸株式会社

〒113-0032 東京都文京区弥生2-12-1
TEL 03-3814-1811 FAX 03-3818-8332
E-mail: info@suzuki-kisho.co.jp
http://www.suzuki-kisho.co.jp



横浜市平沼体育館にて

野球同好会

中村友郎



「神青協一都七県協議会親睦野球大会」

大井ふ頭中央海浜公園野球場にて（平成29年10月6日）

私も野球同好会は毎月二回、夜の時間帯を基本として横浜近郊の球場にて活動を行っております。

野球というと、経験が無い方々にとっては少し敷居が高く、年齢を重ねてからでは始めづらい球技、と感じてゐる方も多いかと思います。しかし私どもの会員の中には、全くの初心者の方の状態から始められ、限られた活動時間の中にも関わらず、目を見張る程の上達をされた方が多くいらっしゃいます。

そもそも野球を単純に見れば、投げた球を打つ、とてもシンプルなスポー



横浜スタジアムにて

ツです。

誰でも出来るからこそ大衆に愛されるスポーツなのだと思います。

まずは多くの方に、純粹に白球を追う楽しさを肌で感じていただきたいと思います。

そして野球というチームスポーツを通して、皆様の親睦を深める一助となるよう活動していきたいと考えております。

【事務局】 神明社 石原誠人

○四五(三四) 六三六五

編集後記

風にそよぐ木々の緑もまぶしい季節に「会報神奈川六十五号」が完成致しました。ご多忙の中ご寄稿下さった笠穂稲荷神社宮司小野和伸先輩、海南神社欄宜米田郷海先輩をはじめ、ご協力頂きました方々、ご協賛頂きました企業の皆様に、厚く感謝御礼申し上げます。

三月に行われた「防災研修会」では、杉原英和先生による「災害時の神職の役目として、人命や御神体、文化財を守り、被災者の心を支える活動をする事で、社会的責任を果たすことができる」というお言葉が心に残りました。様々な青年会活動を通して、非常に時において力になるような行動力や英気を養い、神職の務めに活かすことで、社会への貢献に繋がるとののだと思います。

また、米田先輩のご寄稿では、ご自身の教師としての経験に基づいた貴重な文章から、あまり語られることのない教師という役職について理解を深めることができ、神職としての使命についても深く考えさせられました。

前号から始まりました二つのコラム、『植物と神道』では「橘」について、『冠婚葬祭』では「婚」をテーマにお届けします。いずれもご社頭での講話のご参考にして頂ければ幸いです。今後もより良い会報を作成出来るよう尽力して参ります。（広報部 早川道子）

神奈川県神社庁御用達

株式会社
クレツクス

代表取締役 近藤 榮人

〒194-0014
東京都町田市高ヶ坂六十八-1 〇番地
電話 〇四二-七二八-八九四一代
FAX 〇四二-七三三-三五六三